

地域の指導者と事前の打合せを重視した実践例

学校名 さつま町立薩摩中学校（鹿児島県）

電話番号 0996（57）0101

全生徒数 83名（男子27名 女子56名）

種目等 武道（剣道） 第1・2学年

1 取組のねらい

- （1）平成24年度からの新学習指導要領完全実施に向け、体育担当教員の指導力向上を図る。
- （2）地域の指導者を活用し、TTで授業を実施することにより、基礎・基本を重視し、個に応じた指導の充実を図る。

2 取組の概要

- （1）地域の指導者の確保は、さつま町教育委員会がさつま町剣道連盟と連携をし、講師1名を招聘した。講師は地域のスポーツ少年団の指導者でもある。

（2）体育担当教員と地域の指導者の連携

- ①授業開始1週間前に体育担当教員と地域の指導者が事前打ち合わせを行い、指導計画、指導方針・方向性を共通理解した。
- ②毎時の授業に関しては、体育担当教員が毎時間指導計画を作成し、地域の指導者に届けることで、地域の指導者が事前に授業内容を把握して取り組めるようにした。
- ③授業は体育担当教員が主となり、模範を地域の指導者が行うという形態をとった。剣道の所作の意味についての説明や基本となる技の細かい指導を地域の指導者が行うことで、生徒の関心・意欲を高めた。
- ④授業後は両者で話し合い、次時の内容について確認した。

（3）地域の指導者の指導時数及び活用方法

指導時数は10時間であった。全生徒初めての剣道の学習であることから、1、2年生の単元の前半の5時間の授業に入り、心構え・所作・打突について指導を行った。

○生徒の安全を確保するために配慮（工夫）したこと

- 1 剣道具は個人用ではないことから、発汗に伴う衛生面等を考慮して実施時期を11月とした。
- 2 始業時に、竹刀の安全点検を全生徒で行ってから授業を実施した。
- 3 基本を重視し、正しい打突と受け方を確実に身に付けさせるようにした。

○成果と課題

- 1 地域の指導者が模範を示し、細部に説明を加えることで、生徒が剣道を深く理解しようとし、意欲的に取り組む姿が見られた。
- 2 当初は「難しそう」、「痛そう」と答えていた生徒が「技が決まると気持ちがよかった」、「礼儀作法を気を付けられるようになった」と答えるようになった。
- 3 地域の指導者を活用した授業により生徒は剣道に対する理解を深めた。

○研究内容

【地域の指導者による説明】

地域の指導者(左)が教員の説明の補足を行う。



【地域の指導者の模範】

地域の指導者が技の要点を説明し打突する。
(教員が受け手)



【面打ちの打突】

打ち手の指導はもとより、受け手への指導も重視している。



【学習カード】

授業を振り返り、自己評価と今後の目標を考えさせる。

剣道学習ノト		2年 番 氏名 ()	
順	1	2	3
授業の 流れ	○オリエンテーション ・剣道の歴史や特性 ○礼法 ○構え ○防具の装着	○構え ・竹刀の握り方 ・中段の構え ○体さばき ・送り足、開き足	○素振り ・上下素振り ・正面素振り ○正面打ち ・間合い、受け方
ねら い	○剣道の特性等 ○竹刀の取り扱い	○構え ○体さばき	○素振り ○間合い
自己 評価	意欲 1 2 3 4 ⑤ 態度 1 2 3 4 ⑤ 技能 1 2 3 4 ⑤	意欲 1 2 3 4 ⑤ 態度 1 2 3 4 ⑤ 技能 1 2 3 ④ 5	意欲 1 2 3 4 ⑤ 態度 1 2 3 4 ⑤ 技能 1 2 3 ④ 5
学 習 反 省	握り方・竹刀の握り方に 注意し、より正確な 握り方を習得できた。 防具の装着が スムーズになった。 先生の指導が とても丁寧で、 とても勉強になった。	送り足は、足先を しっかりと伸ばす ことができた。 中段の構えは、 腰を落とすことが できるようになった。 先生の指導が とても丁寧で、 とても勉強になった。	素振りが、速く 正確にできるよう になった。また、 先生の指導が とても丁寧で、 とても勉強になった。
脚	○	○	○

【事前アンケートより】

地域の指導者が来校され、先生と一緒に指導することをどのように思いますか。(複数回答)

- | | |
|-------------------------------------|-----|
| 1 二人で指導してもらえると、細かいところまで教えてもらえるからよい。 | 8名 |
| 2 より専門的な指導をしてもらえそうだから楽しみ。 | 13名 |
| 3 知らない方が来られると、緊張してしまいそう。 | 7名 |
| 4 運動量も増え、きつくなりそう。 | 0名 |
| 5 先生一人の方が、なれているのでいい。 | 1名 |

【事後生徒感想より】

- 地域の指導者のご指導を受けた後から、段々と興味を持ち始め、剣道の面白さを知った。
- 初めて知ることがたくさんあり、地域の指導者に細かくご指導いただき本当に良かった。
- 地域の指導者の指導を通して、剣道はただ打ち合うだけではなく、ちゃんとしたやり方があると初めて知った。

基本動作を重視して安全を確保した実践例

学 校 名 福島町立福島中学校（北海道）
電 話 番 号 0139(47)2069
全 校 生 徒 数 118 名（男子 59 名 女子 59 名）
種 目 等 武道（相撲） 全学年

- 1 取組のねらい
武道（相撲）の円滑な実施に向けて、教員の指導力向上、施設・用具の整備を目指した。
- 2 取組の概要
 - (1) 連携の体制づくり
 - ①教育委員会を核に、学校関係者・地元相撲協会・地域指導者からなる「地域連携推進協力者会議」を組織して地域の指導者との連携を進めた。
 - ②地域の指導者と連携して指導計画の作成を行った。
 - (2) 連携の実際
 - ①地域の指導者による担当教員への講義
 - ②地域の指導者と担当教員による指導計画の作成
 - ③地域の指導者による生徒への指導（担当教員とのTT）
 - (3) 施設・用具（授業実施に向けて購入した用具）
 - ①土俵マット2組（6m×6m）
 - ②相撲パンツ50着（体育着の上から装着、使いまわし可能）
 - (4) 授業の実際
 - ①地域の指導者とのTT…2時間
ア相撲の歴史と福島町、相撲の基本精神、所作に含まれる意味と実技
イ基本練習（「四股」「腰割」「すり足」「押し」）と土俵上の所作
 - ②基本動作と試合形式を中心とした授業…8時間
ア基本動作の徹底による技の展開
イ「勝つ喜び」や「負ける悔しさ」の経験と「相手を尊重する心」の育成

○生徒の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

- 1 「相撲の授業を安全に行うためのチェックポイント」を作成し、生徒への配布と体育館への掲示を行った。
- 2 「四股」「腰割」「すり足」「押し」の基本動作を準備運動として実施した。
- 3 試合形式に入る前には、技の入り方や力の入れ方を具体的に提示した。

○成果と課題

- 1 外部指導者との連携で相撲の特性を理解させ、生徒の意欲を引き出すことができた。
- 2 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を知り、真摯な態度で授業に臨むことができた。
- 3 基本動作の徹底で、怪我の防止と基本となる技への展開に導くことができた。
- 4 指導者の役割を明確にすることで、見通しを持った指導を展開することができた。
- 5 マットの敷き方など、より安全な授業環境の整備の工夫が課題として残った。

○研究内容

【腰割によるウォーミングアップ】

怪我の予防にもつながる基本動作



【地域の指導者との連携】

最初の2時間はチーム・ティーチング



【「押し」と「受け」】

体の使い方を身に付ける



【すり足】

相撲の基本動作の習得



【作成したテキスト】

単元の最初には相撲の特性を学習

【安全のためのチェックポイント】

体育館への掲示と生徒に配布

【各学年共通 1 時間目】

①相撲の歴史

相撲は日本の国技と言われていますが、古くはモンゴルや中国、インド、更には中央のエジプトなどでも相撲と同様二人の人間が組み合う姿が記録されており、日本も含めてそれぞれ農作物の豊凶を占ったり、豊作を祈る儀式のひとつとして始まったのではないかとされています。日本では江戸時代になってから、それまで農村地帯などで行われていた奉納の相撲だけでなく、職業としての力士による相撲現れ現在のようないい土俵で相撲を取るようになりました。(大坂、京都、江戸)

②相撲と福島町のかかわり

福島町には横綱記念館がありますが、これは北海道初の横綱となった千代の山(本名 杉村昌治さん・第41代と、その鋭い眼光と厳しい相撲のとりくちから「ウルフ」とも呼ばれた千代の富士(本名 秋元 貴さん・第58代・現九重親方)の二人の栄誉を称える記念館です。

千代の山は昭和20年当時としては大男と言われる身長190cmで体重こそ110kg程度の体格でしたが相手を生俵外に吊り出したり長い手を使つての突き出しが強力な横綱でした。

あまりにも長身で、家の布団では常に足が飛び出していたとの話や



相撲の授業を安全に行うために ~Check Point~

武道全般

- 体育館に危険物は置かれていませんか?
- 保護の悪い人はいませんか?
- 周りの人とぶつからないように周囲に気を配っていますか?
- 危険な動作や行動、禁止技を用いていませんか?

相撲

- 相撲マットに危険物や汚れは付いていませんか?
- マットをできるだけ平らにひいていませんか?
- 相撲ハツは正しくはいていませんか?
- 手足のつめは伸びていませんか?
- それぞれの技に関する留意点を守っていますか?

相撲の専門家からのCheck Point

- ①手足の「つめ」は綺麗にみじかくなっていますか?
- ②実技は相手があります。ぶつけて行うと怪我につながる恐れがありますので注意しましょう。
- ③相手のシャツや相撲ハツの生地をつかんでしまうと指が生地にからまり固いところできず折れる原因になりますので気をつけましょう。
- ④生土俵の上に乗れずに滑る場合、うかつに手をつかないようにしましょう。

【土俵マット】

本物の土俵と同じ大きさ



【試合】

楽しみながら「心」も学んでいく



地域の指導者と教員の役割を明確にして取り組んだ実践例

学 校 名 愛媛県立今治東中等教育学校（愛媛県）
電 話 番 号 0898（47）3630
全 校 生 徒 数 807 名（男子 362 名 女子 445 名）
種 目 等 武道（なぎなた） 第 1・3 学年

1 取組のねらい

本校はなぎなた部の活躍によって、一般生徒たちのなぎなたへの関心も高い。今までは5年生の選択授業において、リズムなぎなたを取り入れることはあったが、本年度から、1年生と3年生の授業において、地域の指導者との連携のもと本格的に導入することとした。

2 取組の概要

武道家として活動されている地域の指導者の指導を受ける指導体制をとった。これにより、日本古来の伝統を有するなぎなたの魅力に触れるとともに、生涯スポーツのすばらしさを実感することができた。体育担当教員と地域の指導者が連携を密にし、中学生が無理なく活動できる授業づくりを目指した。

具体的には、体育担当教員2名、地域の指導者1名の計3名で授業に当たった。特に意識したのは、役割分担である。全体指揮と個別指導の担当者に分け、役割分担を明確にし、効果的な連携を確立していった。

○生徒の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

- 1 地域の指導者とともに、計3名での指導体制をとることにより、生徒一人一人に細やかな指導を行うことが可能になるとともに、安全に対する配慮が行き届くようになった。
- 2 なぎなたや防具などの用具のチェックなど、授業前になぎなた部員が中心となって行った。また、授業は、はだしで活動するため足の爪などのチェックを欠かさず行った。

○成果と課題

- 1 今回の地域の指導者と連携した授業実践は、武道家ならではの雰囲気をもつ地域の指導者の魅力により、生徒が意欲的に活動するなど、予想以上の成果を収めた。また、生涯スポーツのすばらしさや伝統的な武道の魅力を生徒に伝えることができたと考える。特に、「伝統的な行動の仕方」や「相手を尊重する心」を生徒も体育担当教員も地域の指導者から肌で感じ取ることができた。また、男子にはまとめの段階で行ったリズムなぎなたが特に好評であった。
- 2 生徒は、なぎなたに高い関心を示しているので、確実な技能の習得を達成したい。また、後期課程を含めた6年間の系統性にも留意し、工夫を凝らした授業を展開したい。

○研究内容

【男子なぎなた授業の様子①】

姿勢のよい立ち姿について指導



【男子なぎなた授業の様子②】

防具なしの打ち込み練習（面打ち）



【女子なぎなた授業の様子①】

防具を付けて打ち込み練習



【女子なぎなた授業の様子②】

音楽に合わせたリズムなぎなた



【アンケート結果について】

生徒のなぎなたの授業に対する関心・意欲は高い。また、武道の礼法についても大切さを実感することができた。感想では、外部指導者の指導に対して高い評価の意見が多かった。

教科(保健体育) 学年(1年生・3年生)							割合(%)					
番号	質問事項	1	2	3	4	無回答	合計(人)	1	2	3	4	無回答
①	なぎなたの授業が経験できてよかった。	64	45	12	1	0	122	52	37	10	1	0
②	なぎなたについて興味・関心がある。	26	48	29	19	0	122	21	39	24	16	0
③	外部指導者の指導はよい経験となった。	84	29	9	0	0	122	69	24	7	0	0
④	なぎなたの基礎的な技をかけることができ、その名称もわかる。	20	43	47	12	0	122	16	35	39	10	0
⑤	なぎなたの授業に積極的に取り組みことができる。	40	60	20	2	0	122	33	49	16	2	0
⑥	リズムなぎなたは楽しかった。	63	34	22	3	0	122	52	28	18	2	0
⑦	武道は心を落ち着かせたり、心身を鍛練することにつながると思う。	76	34	10	2	0	122	62	28	8	2	0
⑧	道着や防具の着用の仕方や片づけ方がわかる。	36	52	25	9	0	122	30	43	20	7	0
⑨	もう一度なぎなたの授業をしたい。	46	41	21	14	0	122	38	34	17	11	0

【項目】 1・・・はい。 2・・・どちらかといえば、はい。 3・・・どちらかといえば、いいえ。 4・・・いいえ。

地域連携指導推進協力者会議の活用 により授業づくりを工夫した実践例

学 校 名 花巻市立宮野目中学校（岩手県）
電 話 番 号 0198(26)2117
全 校 生 徒 数 182 名（男子 95 名 女子 87 名）
種 目 等 ダンス（創作ダンス） 第 3 学年

1 取組体制

(1) 支援委員会による授業づくり

域内中学校体育担当教員 3 名と教育事務所指導主事 2 名による支援委員会を組織し、地域連携指導推進協力者会議における協議内容を踏まえ、ダンスの授業づくりに関わる情報交換、単元計画の検討を行った。

また、支援委員 1 名が先進校視察を行い、その内容を支援委員に伝達し、それぞれの授業実践に生かせるようにした。

(2) 地域の体育担当教員への普及

域内および県内体育担当教員に授業を公開し、支援委員会による授業づくりの成果を共有する。

また、大学教授に講話を依頼し、ダンスの授業づくりについて理解を深めた。

2 単元計画作成上の留意点

(1) 1 単位時間の流れを明確に

1 単位時間の流れを【ア】ダンスウォームアップ 【イ】課題の理解 【ウ】イメージと動きの共有 【エ】グループ活動 【オ】見せ合いと評価 と毎時間位置付け、生徒が見通しをもって主体的に取り組めるようにした。

(2) 一斉指導から創作活動へ

単元の経過に伴い、【ア】【イ】【ウ】の一斉指導の割合を少なく、【エ】のペア・グループの創作活動の割合を増やしていった。

(3) ダンスの動きをイメージしやすいキーワード等の活用

学習内容を明確にし、生徒が常に意識して活動に取り組めるよう「ダイナミック」「デフォルメ」等のダンスのキーワードを授業で活用した。

○生徒の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

- 1 ダンスウォームアップに、体の調子を整えたり柔軟性や瞬発力を高めたりする動きを取り入れ、体調に気付かせたり非日常的な動作の多い主運動に備えたりした。
- 2 学習形態、場所や用具の使い方等、安全確保に関わる指導や約束事の確認を行った。

○成果と課題

- 1 「単位時間の流れ」「学習内容」を明確に位置付けた単元計画は、生徒の主体的で意欲的な学習を行う上で有効であった。
- 2 域内の体育担当教員の連携による授業づくりは、ダンス指導に不安をもつ教員にとって有効な手段であった。
- 3 ダンスの魅力や価値をふまえた学習内容のさらなる検討が必要である。

○研究内容

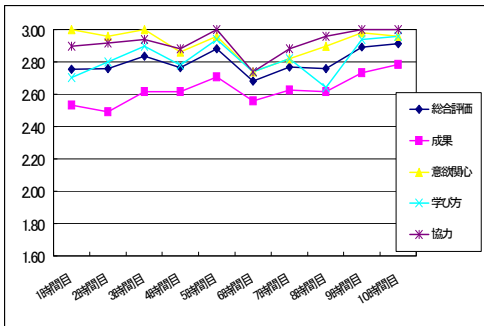
【単位時間の流れを明確に】
 生徒が見通しをもって学習に取り組めるように。



【グループによる創作活動】
 前時までの学習を生かしてイメージを出し合う。



【形成的授業評価の推移】
 生徒による授業に対する評価



【ダイナミックにのびのびと】
 キーワードを意識したグループ活動



【3年生ダンス（創作ダンス）単元計画】
 ダンスキーワードによる学習内容の明確化 ・ グループ活動は単元の経過に伴い増加

目標	ダンスに積極的に取り組み、仲間の良さを認め合おうとすることに意欲を持ち、健康・安全に気を配ることができるようにする。【関心・意欲・態度】 課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができるようにする。【思考・判断】 表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、動きに変化をつけて即興的に表現したり、個性を生かした簡単な作品にまとまりて踊ることができるようにする。【技能】 ダンスの特性、表現の仕方、体力の高め方などを理解できるようにする。【知識・理解】											
1時間の授業の流れ	時間	1	2	3	4	5 (本時)	6	7	8	9	10	
学習内容・学習活動	【ア】ダンスウォームアップ	リズムの大切さ	ダイナミック	ひと流れ	メリハリ	極限	群の変化	デッサン	デフォルメ	※	※	
	【イ】課題の理解	【ア】ダンス・ウォームアップ (用具や機器の準備、ストレッチは2分前学習で行う)										
	【ウ】イメージと動きの共有	【イ】学習課題の設定										
	【エ】グループ活動	オリエンテーション	【ウ】88442211の動きを体感	【ウ】新聞紙の上の動きを体感	【ウ】「メリハリ」の体感	【ウ】「伸ばし縮む」の体感	【ウ】「伸び縮む」の体感	【ウ】「伸び縮む」の体感	【ウ】「伸び縮む」の体感	【ウ】「伸び縮む」の体感	【ウ】「伸び縮む」の体感	【ウ】「伸び縮む」の体感
	【オ】見せ合いと評価	【エ】ベアで動きを考える	【エ】ベアで動きを考える	【エ】ベアで動きを考える	【エ】2ベアで走る一止まる	【エ】2ベアで走る一縮む	【エ】2ベアで走る一縮む	【エ】2ベアで走る一縮む	【エ】2ベアで走る一縮む	【エ】2ベアで走る一縮む	【エ】2ベアで走る一縮む	【エ】2ベアで走る一縮む
	備考	学習シート①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	